

— 住学協同への実験 —

筑豊ゼミ研究会報 10月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 15 号 2014 年 10 月 10 日

10 月例会は 10 月 15 日(水)午後 7 時～9 時

[ひきこもり研究会：10 月 24 日(金)午後 7 時～8 時 45 分 飯塚市民交流プラザ]
受付(独楽研究会)は視聴覚教室(4 号館 1 階)で行います。インフォメーション(連絡事項)等を、最初に行いますので、受付後午後 7 時迄視聴覚教室に待機してください。

市民遺産研究会(4号館1階、4401 視聴覚教室)

受付、インフォメーション終了後、情報学科戒田研ゼミ室(または情報工房)に移動。
9 月例会で決めた調査エリアを完成できているものや、予定していることを検討。
コンピューターにて映像を見れるように写真や文章をメモリーなどに入れて持参し、案として戒田研究室のコンピューターを利用して討議する。

独楽研究会(4号館4階、4103 教室)

- 1) 花元顧問が視聴覚教室で回したデーターと独楽資料館で回したデーターの分析
- 2) 歳差運動について(独楽のふらつき)

ひきこもり研究会

(日時:10 月 24 日(金) 午後 7 時より、場所:飯塚市民交流プラザ)

- ・ひきこもり(30才)の方の録画視聴 解説
- ・来年3月までの具体的な活動について意見交換

情報発信/データデザイン研究会

(午後 5 時 3 号館 3 階 3304-B:情報工房)
・筑豊地域づくりセンター、筑豊ゼミ Web サイトのコーディング
・Webサイトに掲載する文章の依頼と掲載準備
(前日までに pdd 研 chikuzemi.pdd@gmail.com 宛に了解をとって頂ければ、参加できます。)

筑豊ゼミ・研究会報告

市民遺産研究会 9月定例研究会

会長 白神 精一

- 1) 前月の出席者が少数だったので、今までの経過内容を再度報告確認する。
- 2) 飯塚を中心とするエリアで次のようなブロックを決定、担当者が文章と写真を入れた構成で作成、マップ等に落として一覧を見れるようにする。
 - ア) ポタ山炭鉱関連・・・主税
 - イ) 伊藤伝右衛門・白蓮関係・・・白神、平野
 - ウ) 囊祖八幡宮関連・・・小林
 - エ) 長崎街道関連・・・佐野、千代田～3か所に決めてエリア内の名所旧跡と炭鉱遺産を含めて調べる。
 - オ) グーグルマップに落として見やすく作成・・・岩野文章（100文字程度）にて説明のほか写真を入れて説明できるようにする。

独楽研究会 9月定例研究会

会長 笹原 泰史

- 1) 吉田氏が初期回転数を1200回転で回した場合、回転時間は12分前後で回転時間は長く回ったが減少率は700回転で回した場合はほぼ同じでした。
- 2) 独楽に紙を上と下に貼って回してみましたが回転時間は短かった、紙を貼る事で空気抵抗が多くなった。
- 3) 花元顧問に回して頂き回転数と回転時間を調べると1400回転で回したら風の抵抗なのか14分回る独楽が10分しか回らず独楽資料館にて再度回す事にしました。後日資料館で回したら14分は回りました。僅かな風の流れて回転数が変わる事が分かりました。



紙を上貼った場合



紙を下貼った場合

ひきこもり研究会

9月定例研究会

会長 野田 隆喜

・4月よりの研究会のまとめ

会員よりの感想・意見

- ・ 不登校については馴染みがあるが、「ひきこもり」についてはほとんどないのが実状
- ・ ひきこもり経験者やその保護者よりの話はどれも驚きばかり
- ・ 社会参加までの道のりに「第三者(私たち)」が関わる事が必要であることが大切なことはわかるが では具体的な方法どうしたらよいか 想像つかない
- ・ 保護者からひきこもり=福祉関係が主ですが 福祉関係以外の道を模索して欲しいの訴えには 言葉がなかったし自分の理解が浅いことを痛感した
- ・ 参加者が増えなくてもまずは自分たちが正しく理解し来年につなぎたい

情報発信/データデザイン研究会(pdd 研) 9月定例研究会

会員 情報学科3年 片岡 雅博

情報発信/データデザイン研究会(pdd研)は、近畿大学産業理工学部の学生が、ホームページなどの情報発信媒体を通じて筑豊地域の活性化を図る目的として平成26年に作られた組織です。主な研究内容は、どうすれば筑豊地域の人々に興味を持ってもらえるようなホームページを作れるか、どうすればより効果的に筑豊の良い所を知ってもらえるか、それらを学生がこれまでに得た知識を活用し、実際に形にすることをしています。

[9月の活動内容]

pdd 研は毎週水曜日にウェブサイトの制作について会議を行っています。今月は、美術部の協力により地域づくりセンターのウェブデザインを制作しました。下の図が、地域づくりセンターHP のデザインとなります。

また、前号(第14号)で紹介しました筑豊ゼミ HP のワイヤーフレームに従ってコーディングを開始しました。(コーディングとは、デザインしたものに従って実際にHTML(ウェブページのプログラム言語)コードを書いてウェブページを作り始めることです。)



図. 地域づくりセンターHP のデザイン

内野の大銀杏と蕎麦畑

内野と言えば、長崎街道内野宿の長崎屋と大銀杏。

銀杏は人類にとって特別な植物です。(「イチョウ奇跡の2億年史 生き残った最古の樹木の物語」ピーター・クレイン著 (飯塚市図書館にあります)に、「イチョウが2億年もの間基本的に変わらないまま存続し」「5万年前、中国南部の谷間で絶滅寸前の銀杏が現生人類に会い、ヒトから崇められる存在になったことで再び世界に広がった」とあり、ヒトが地球の覇権を握ることで多くの動植物が絶滅したと際立った違いを見せています。)

昨年9月28日(左)、内野の大銀杏は見事な蕎麦の白花と競っていましたが、今年9月27日(右)は、彼岸花が目立ち、蕎麦は花どころか茎も伸びてない。

これも異常気象の所為？幸い銀杏は全く同じ姿、形をしています。



情報交差点

筑豊での話題やイベント情報を掲載します。予告や結果報告等、皆様からの情報を待っています。

送付先 e-mail : chair@chikuzemi.com (運営委員長) : sec@chikuzemi.com (事務局長)

URL: <http://www.chikuzemi.com/> (筑豊ゼミ)

<http://www.chikuhou-jugaku.org/> (NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター)

王塚古墳 秋の特別公開 嘉穂郡桂川町寿命 376

10月18日(土)・19日(日) 現地直接受付 AM 9:30～PM 4:00

同時公開：遠賀川流域遺跡・古墳

<http://www.town.keisen.fukuoka.jp/ouzuka/contents/event/onga.html>

1. 竹原古墳(国指定) 宮若市竹原 734-3
6世紀後半に造られた円墳で、装飾古墳として有名
2. 水町遺跡群(直方市) 直方市大字上境 49-1
6世紀中頃～7世紀にかけての横穴墓が70基以上、マウンドや線刻画装飾も2基から見つかっている。
3. 川島古墳 11号墳(県指定)飯塚市 407 外
川島古墳群のなかのひとつで、昭和62年に発見された装飾古墳
4. 小正西古墳(県指定)飯塚市小正
6世紀前後に造られた円墳で、径約29m、高さ約5.5mの大型のもので墳丘内に2つの石室をもつ。
5. 沖出古墳(県指定) 嘉麻市漆生 78-1 外
前方後円墳で全長68m、初期の竪穴式石室に舟形石棺を持つ。
6. 伊方古墳(県指定) 田川郡福智町伊方 3946
田川地域では、最大級の横穴式石室である。花崗岩の巨石を使用して造られている。
7. 夏吉古墳群 1・21号(市指定) 田川市大字夏吉 2657 外 18日(土)のみ公開
夏吉地区のロマンスヶ丘の南麓には、古墳時代後期の田川地域では最大の古墳群が分布している。
8. 建徳寺 2号墳(町指定) 田川郡大任町大字今任原 1670
古墳時代後期の円墳で横穴式石室である。石室の天井石が無いため、石室内部が観察できる。

発行：NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第27期筑豊ゼミ

責任者：第27期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者：第27期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住所：〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第27期筑豊ゼミ

連絡先：090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail : chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)